

## 令和5年度千歳市労政審議会 議事録

### 1 開催日時

令和5年11月17日（金） 14時10分

### 2 会 場

千歳市役所 議会棟2階 大会議室

### 3 出席者

#### (1) 労政審議会委員

皆木委員（副会長）、業天委員、兵頭委員、北村委員、小松委員

#### (2) 事務局

磯部産業振興部長、松石産業振興部次長、辻商業労働課長、宮澤労政係長、  
佐藤労政係主事、本田雇用対策推進員

### 4 議 事

#### (1) 「千歳市における労働行政について（令和5年度）」

①地元就職・人材確保支援事業の実施状況について

②しごと情報発信サイト「ちとせの仕事」の運営状況について

③その他事業の実施状況について

④季節労働者通年雇用促進支援事業の取組状況について

#### (2) 「地元就職と人材確保の促進について」

### 5 内 容

#### (1) 「千歳市における労働行政について（令和5年度）」

松石産業振興部次長の進行により、事務局の紹介を行った後、皆木副会長に進行を交代し、審議を行った。

続いて、事務局辻商業労働課長から議事（千歳市における労働行政について）に沿って、令和5年度における実施事業の説明及び報告等を行い、質疑応答を行なったが、質問・意見等はなかったことから、議案の内容については報告済みと決定した。

#### (2) 「地元就職と人材確保の促進について」

地元就職や人手不足の解消に対する支援について、はじめに千歳公共職業安定所 所長 業天委員より近年の雇用情勢について説明いただき、それぞれの委員の立場から市内の実情やニーズに関するご意見やご所見について発言していただいた。内容については次のとおり。

### 【業天委員】

ハローワーク千歳は本所と夕張出張所で構成され、本所では千歳市、恵庭市、夕張出張所では夕張市、長沼町、栗山町、由仁町を管轄している。その中でも、本所で管轄している千歳市、恵庭市について、令和5年8月の有効求人倍率は0.90であり、若干1に届かない状況である。昨年8月における有効求人倍率は0.98であり、今年度は昨年度と比較して低くなっている。これは、昨年は新型コロナウイルスによる様々な制限が解除され、求人が非常に多かったことが影響していると考えられる。この有効求人倍率はハローワーク千歳で受けた求人をもとに算出しているものであり、最近では千歳市外にある本社などがオンラインで求人を出すケースが増加していることもあるため、実際の千歳市内の求人数はさらに多いことが予測される。

また、その月にハローワークに仕事を探しに来た人数を示す「新規求職申込件数」については、令和5年8月は471名であり昨年8月の501名を若干下回っている。その月に出示された求人数を示す「新規求人数」については、令和5年8月は728名であり、「新規求職申込件数」よりも「新規求人数」が多くなっていることから人手不足がうかがえる。

産業別の求人状況について、前年と比較すると、建設業と製造業（食料品）での求人が大きく減少している。その他にも減少している分野はあるものの、年間を通すと大幅な変化は見られていない。医療福祉については、人手不足が継続している。

### 【皆木委員】

市が実施した合同企業説明会について、参加企業や参加人員が昨年と比較し増加していることから、求職者と企業の双方にとって有意義な機会であったと言える。

今後、ラピダス株式会社の進出に対する人材の育成や確保について、行政としてセミナーなどを開催する予定はあるのか。

### 【磯部部長】

半導体の製造ということもあり、関係する人材が道内には少ない状況である。ラピダス株式会社の進出により、道内の大学や高専では半導体分野の専門教育に力を入れる動きもみられている。市としては、理工系の学生の多くが道外へ流出してしまうことが課題であると認識しており、地元での就職を選択してもらえるよう、対策を講じていきたいと考えている。

### 【兵頭委員】

製造業では、人手不足が問題となっている。求人を出しても高齢者からの応募が多い。若年層は正社員として大企業に勤務しており、市内企業には若い人材が入ってこない。工業高校や高専を中心とした採用活動を行っているが、勤務地などの関

係で採用に結びつかないケースが多い。

ハローワーク千歳主催の新規高卒者企業説明会について、今年度は工業高校からの参加が1名とのこと。製造業のブースを訪問した学生は非常に少なく、学生とのマッチングの難しさを感じている。工業系の高校生は8月になると就職希望先がおおむね決まっていることが多いが、新規高卒者企業説明会は8月の開催であることから、開催時期を考慮していただけると人材不足の製造業にとって、より良い機会になるのではないかと。

#### 【小松委員】

人材確保について、複数の合同企業説明会に参加したものの、勤務条件や業務内容の希望が合わず採用につながらない事例が多くあった。市主催の説明会は、求職者一人当たりの時間制限を設けず、自由にブースを訪問することができ、企業側にとって良い方法だった。例年、新規高卒者の採用を行っているが、若者の就労に対する意識や価値観が変化していることもあり、社会人としての意識の醸成に苦慮している。

また、ラピダス株式会社の進出に付随し、多くの企業の立地も見込まれる。市が開催した名刺交換会は市内企業にとって非常に良い機会であった。

#### 【北村委員】

しごと情報発信サイト「ちとせの仕事」について、9月末時点の掲載企業数が62社にとどまっているのはなぜか。

#### 【宮澤係長】

62社というのは実際に企業情報ページを公開している企業数であり、非公開となっている企業を含めると113社である。市としても掲載企業を増やしていくために、商工会議所の会報への掲載など様々な方法で市内企業向けに周知を行っている。

#### 【北村委員】

企業側の求めている人材と求職者のミスマッチが多いと耳にするが、「ちとせの仕事」を通じて企業で実際に働いている方の顔や職場の風景を写真で見られることは、求職者の企業選びにとってメリットがある。掲載企業のさらなる拡充や求職者への周知に努めていただきたい。

#### 【磯部部長】

対面による合同企業説明会は、企業側と求職者側の雇用のミスマッチを防止する効果が期待できることから、いただいた意見をもとに開催時期や開催方法を検討し、改善していきたい。

高校生への就職支援は、生徒数の減少や進学希望者の増加により就職を希望する学生が減少しているなかで、人材確保にとって重要な役割を担うこととなる。学生から社会人への移行を円滑に進めるための就労意識の形成に関する支援や、学生たちに市内企業を就職先として選択してもらえるような取組みを検討していきたい。

#### 【業天委員】

新規高卒者企業説明会の開催時期について、高校によって学内推薦を決める時期が異なり、特に工業高校などは夏休み前（7、8月）に応募希望の企業を学校に申し出るとも聞いている。その他の高校については現時点（11月）でも未確定の学生が多い状況である。求人が多い時期や企業への負担を考慮し、担当教諭と相談のうえ8月の開催としている。その一方で、ハローワーク千歳としても就職を希望する市内の学生には地元企業へ就職してもらいたいという考えであることから、今回いただいた意見をもとに今後の開催について検討していきたい。

## 6 閉 会

—以上—